

阮立 (RUAN LI)

1. 事業実施の目的

海外で行なわれる「世界コスプレサミット」予選に関する基礎的な情報収集

2. 実施場所 スペイン・バルセロナ、スペイン・マドリード
3. 実施期日 平成 29 年 11 月 1 日(水)から 11 月 13 日(月)
4. 成果報告

●事業の概要

本研究は、従来のような個人レベルでの「レイヤー」研究を越えて、コスプレを披露する「場」における実践からコスプレの仕組みと文化的意味について研究を行うものである。具体的には、名古屋で開催され、世界中のコスプレコミュニティを結び付けている「世界コスプレサミット(World Cosplay Summit)」におけるコスプレに関わる実践に焦点を当て、「世界コスプレサミット」にかかわる複数のアクターとその相互関係を把握する。また、その実践を日本国内及び海外におけるコスプレ実践と比較し、コスプレの文化的意味を明らかにする。

前回の 28 年度の派遣事業においては、「世界コスプレサミット」の開始から現在までの歴史、日本国内のコスプレイベントとの違い、及びそれぞれのイベントにおけるコスプレの実践、以上の3点に関する基本的な情報を収集した。しかしながら、海外における「世界コスプレサミット」予選の実態、及び現地におけるコスプレ文化の展開に関する調査がまだ不十分となり、上記の 2 点に関する情報の収集と資料の集積が必要である。

従って、本事業では、平成 30 年に名古屋で開催される「世界コスプレサミット」本選のためのスペイン予選である「サロン・デ・マンガ・デ・バルセロナ(Salón del Manga de Barcelona)」で調査を行った。これによって、「サロン・デ・マンガ・デ・バルセロナ」の実態と歴史を把握し、予選参加者と審査員の行動観察を行い、今後の研究に向けた予備的な情報を収集した。具体的な調査内容は、以下の4点である。

- 1) スペインにおける現地調査では、「サロン・デ・マンガ・デ・バルセロナ」の実態を確認した。イベント会場は五つのホールと一つのステージから構成される。ホールには、マンガ・アニメ・ゲー

ム・コスプレから、和食・着物・盆栽・将棋・茶道までの日本「文化」を扱う売店・展示会・ワークショップがある。ステージでは、コスプレコンテストをはじめ、ダンスコンテストやコンサートやカラオケや日本の剣道と伝統踊りのパフォーマンスなど様々なプログラムが実施された。上記のイベントを観察することによって、マンガと名乗ったこのイベントは、事実上、日本文化の博覧会になっているという実態を明らかにした。

- 2) イベントの責任者と関係者への聞き取り調査によって、「サロン・デ・マンガ・デ・バルセロナ」の歴史に関する情報を取得した。1980年代後半のバルセロナにおいて、アニメ・ドラゴンボールの大流行により、マンガ・ドラゴンボールをはじめ、正規版のマンガへのニーズが増えた。これに応じて、1995年、第一回目の「サロン・デ・マンガ・デ・バルセロナ」はあるスペインの出版会社により開催されたことを明らかにした。一方、スペインの「サロン・デ・マンガ・デ・バルセロナ」と名古屋の「世界コスプレサミット」との歴史的な繋がりについて、当時の責任者が不在のため、この辺の情報を収集できなかった。ところが、現任の責任者によると、マンガとコスプレの発祥地である日本、しかも世界一参加国の数を有する名古屋の「世界コスプレサミット」は、現在の「サロン・デ・マンガ・デ・バルセロナ」にとって欠かせない存在であることを確認した。
- 3) 「世界コスプレサミット」のスペイン予選における参与観察によって、本選との違いを把握した。特には、審査過程において、名古屋の本選は採点表に従って順位を決めるが、スペインの予選は採点表よりも審査員の合意を重視することを明らかにした。また、パフォーマンスにおいて、本選ではビデオとオーディオに合わせてパフォーマンスすることに対して、スペインの予選は映像を使わずオーディオによりパフォーマンスする。これによって、世界各地で開催される予選が、「世界コスプレサミット」の審査基準を参考にしている一方、独自の審査方法やルールを創出することで、「世界コスプレサミット」とは異なるコスプレ・パフォーマンスが実践されていることを再確認した。
- 4) 過去の代表者及び優勝した代表者への聞き取り調査によって、「世界コスプレサミット」に参加した感想、意義、影響に関する情報を収集した。これらのインフォーマントの語りから、「世界コスプレサミット」の本選に出ることは個々のコスプレイヤーにとって最高の目標であり、日本文化を体験できる貴重なチャンスであることを明らかにした。また、「世界コスプレサミット」に参加したことによって、過去の代表になったコスプレイヤーたちは現地のコスプレイベントの司会及び審査員として呼ばれることが増え、コスプレの楽しみが一層増えたと語った。

●本事業の実施によって得られた成果

本事業の実施により、「サロン・デ・マンガ・デ・バルセロナ」の現在と歴史に関する基礎的な情報を獲得し、スペイン予選におけるコスプレ実践及び審査の現状を把握することができた。これによって、具体的な成果として以下の3点が得られた。

- 1) スペインにおける、「マンガ」という言葉が持つニュアンスを明らかにした。マンガはもともと日本のコミックとしてスペイン人に認識された。現在には、マンガは日本製のコミックではなく、一種のコミックのスタイルになり、時にはマンガ・アニメ・コスプレを含む幅広い日本文化の代名詞となっている。そのため、マンガやアニメから始まったこのイベントは、日本文化の博覧会になっていくのもおかしくないだろう。
- 2) 過去の代表者たちのインタビューから、「世界コスプレサミット」に参加した意義と影響は以下の傾向が見られる。端的にいうと、スペインの予選に優勝して、日本に行くことは、コスプレイヤーの最終目標であり、最も意味があることである。また、「世界コスプレサミット」に参加したこと、及びその経験自体は、今後コスプレイヤー、コスプレ審査員としてのキャリア作りにとって、重要な意義がある。
- 3) 「世界コスプレサミット」の本選とスペインの予選について、それぞれの特徴を把握した。コスサミは、テレビ番組から始まり、大衆の関心と呼ぶために、世界中のコスチュームプレイヤーを集め、コスチュームとパフォーマンスに順位つけるイベントとして機能している。それに対して、「サロン・デ・マンガ・デ・バルセロナ」は、来場したコスプレイヤーを楽しめるため、環境整備に力を入れ、ヘルパーや更衣室を用意している。そのため、「サロン・デ・マンガ・デ・バルセロナ」は、スペインのコスプレイヤーの間では、スペインーコスプレイヤーにやさしく、コスプレを楽しめるイベントであると評価されている。

●本事業について

本事業の利用により、博士課程の研究に向けて、欠かせない基礎的な資料と情報を蓄積することができたことを心から感謝している。しかし、このような短期間で、インテンシブな海外調査には研究資金がかかる上、応募可能助成制度が少ない。この現状において、特に、本事業のような渡航費の多くかかるフィールドで調査活動を行うためには、学生派遣事業は欠かせない制度である。今後も、このような事業が継続されることを切に願っている。